Panasonic®

取扱説明書

デジタル コードレス サラウンド ヘッドホン

品番　RP-WH5000

このたびは、デジタル コードレス サラウンド ヘッドホンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■**ご使用の前に「安全上のご注意」（4～6ページ）を必ずお読みください。**

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

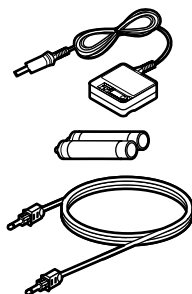
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

■付属品の確認

まず最初に付属品を確かめてください。

□ AC アダプター ································1 個
（RFX5051）

□ 単3形充電式ニッケル水素電池 ··················2 本
（HHR-3AH/2B）

□ 光デジタル接続ケーブル（光角型⇔光角型） ······1 本
（RP-CA2020A）（約2 m）
買い替え品は形状が異なります。

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
（　）内は買い替え時の品番です。
買い替え時の品番は 2004年10月現在のものです。

保証書別添付　　上手に使って上手に節電

RQT7948-S

主な特長

本機は赤外線伝送方式（デジタル）を使用したデジタル コードレス サラウンドヘッドホンです。
マルチチャンネルのサラウンド音場を、ヘッドホンで快適にお楽しみいただけます。

- ドルビーデジタル※、ドルビープロロジックⅡ※、DTS※対応
（「ドルビーデジタルサラウンドEX」、「DTS-ES」表記のソフトも再生可能）
- 独自に開発した「パーソナル サラウンド」により、臨場感あふれるサラウンド音場をヘッドホンで実現
- BSデジタル放送や地上波デジタル放送などのデジタル放送で使用されるMPEG-2 AACにも対応
- 外来ノイズなどの影響を受けにくい赤外線を利用した、デジタル伝送方式のコードレスヘッドホン
- ヘッドホンをトランスミッターにのせるだけの簡単充電方式
- 最大で約8 mの赤外線到達距離
- ヘッドバンドの調節不要なフリーアジャスト機構を採用
- ヘッドホンを頭にかけるだけで自動的に電源が入り、はずすと自動的に電源が切れる、オートパワーオン／オフ機能
- ヘッドホンの左右の音量を連動して調節できるVOL（ボリューム）つまみ
- ヘッドホンの電源は、付属の充電式ニッケル水素電池、または別売りの単3形乾電池のどちらでも使用可能
- 受信範囲外での耳障りなノイズをカットするミューティング機能
- 音声入力のない状態が約5分続くと自動的にトランスミッターの赤外線出力が停止し、消費電力をセーブ

※本機のトランスミッターは、ドルビーデジタルデコーダー、ドルビープロロジックⅡデコーダー、およびDTSデコーダーを搭載しています。

もくじ

まず 確認と準備

使う

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

充電式電池は本機を使って充電する

- 本機以外で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- 充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

充電式電池は、はんだ付け、分解、改造したり、火の中へ投入、加熱はしない

- 電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

⚠警告

分解・改造しない

- 機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- 点検や修理は、販売店へご依頼ください。

ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ACアダプターのコード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱機器に近付けたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。
- 抜くときは、ACアダプターを持ちまっすぐ抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流（AC）100V以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない

- 感電の原因になります。

乗り物を運転中は、ヘッドホンを使用しない

- 周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。

充電式電池の⊕と⊖をショートさせたり、違う種類（ニカドとニッケル水素）の電池をいっしょに使わない

- 電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- ネックレスなどの金属物といっしょに携帯、保管する場合は、必ずケースなどに入れてください。
- 電池には安全のためにビニールのチューブをかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。はがれたものは使わないでください。

ACアダプターのプラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器の表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

乾電池は誤った使い方をしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **新・旧電池や、違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被膜のはがれた電池は使わない**
- 長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になることがあります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

付属のACアダプターを使う

- 指定外のACアダプターで使用すると火災や感電の原因になります。

ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ヘッドホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止する

- そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

充電式電池使用後は、
貴重な資源を守るためにリサイクルへ！

使用済み電池の届け先：

- お買い上げの販売店、または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へ
- もしくは、（社）電池工業会へご確認ください。
（ホームページ：http://www.baj.or.jp）

ニッケル水素電池使用

各部のなまえとはたらき

トランスミッター前面

赤外線発光部
赤外線発光部が見通せる位置に設置してください。
赤外線発光時は、発光ランプが赤く点灯します。

POWER/CHARGE（電源/充電）ランプ
（☞11ページ）
- 赤外線を発光しているときは緑色に点灯
- ヘッドホン充電時は赤色に点灯
- 充電完了時および赤外線出力が停止しているときは消灯

DECODE MODE ランプ
（☞16～17ページ）
（DOLBY DIGITAL、DOLBY PRO LOGIC Ⅱ、DTS、MPEG-2 AAC）
入力された音声信号の記録方式をトランスミッターが自動判別して点灯します。

SURROUND ランプ
（☞16、19ページ）
（MUSIC、CINEMA、VOICE）

SURROUND（切換）ボタン
（☞19ページ）
サラウンドモード（MUSIC、CINEMA、VOICE、OFF）を切り換えます。

DIGITAL ANALOG（切換）つまみ
（☞16ページ）
入力（デジタルまたはアナログ）を切り換えます。

充電端子
（☞11ページ）

各部のなまえとはたらき

トランスミッター後面

ATT（アッテネーター）（切換）つまみ

（☞14ページ）

アナログ入力で音声が小さい場合は「0dB」に切り換えます。通常は「－8dB」にして使います。

LINE IN（ライン イン）（ライン入力）端子

（☞14ページ）

ビデオデッキやテレビなど、別売りのAV機器の音声出力端子に接続します。

DIGITAL IN（デジタル イン）（光デジタル入力）端子

（☞13ページ）

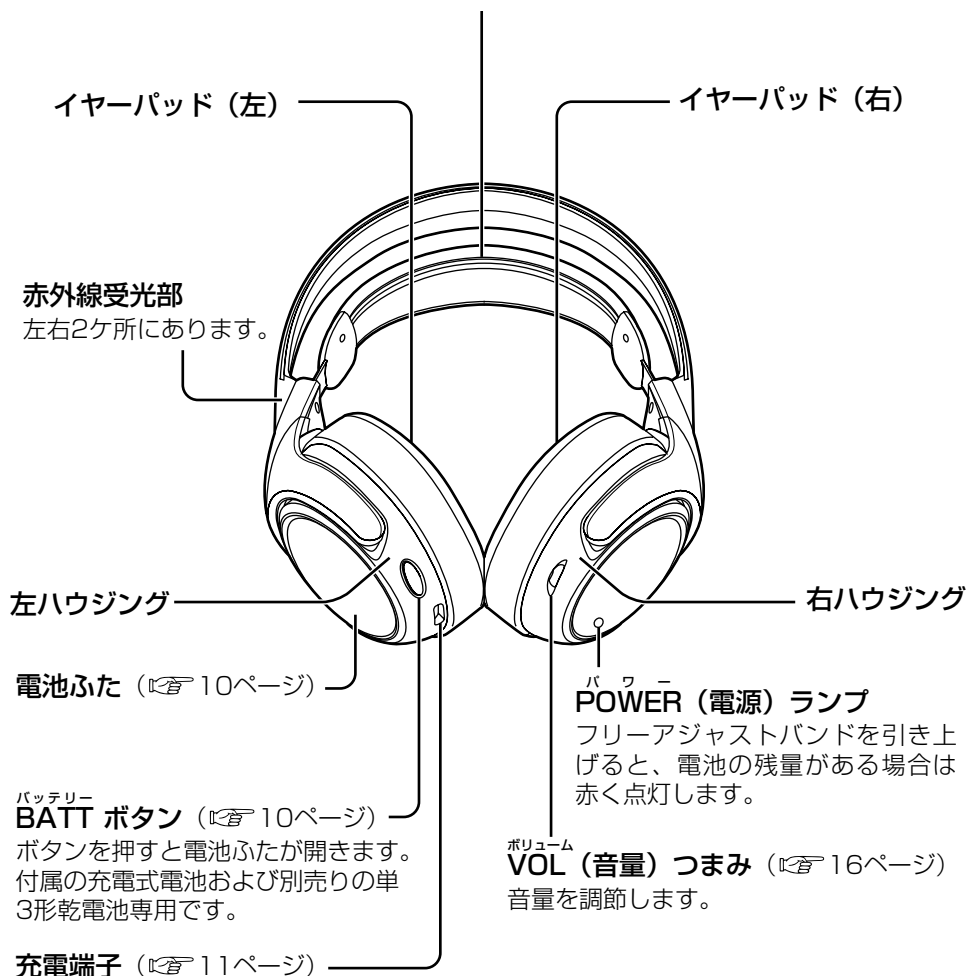
DVD プレーヤーなど、別売りのデジタル機器の光デジタル出力端子に接続します。

DC IN（ディーシーイン）6 V 端子

（☞10ページ）

付属のAC アダプターを接続します。
（必ず付属のAC アダプターをお使いください。プラグの極性など異なる製品を使うと、故障の原因となり危険です。）

ヘッドホン

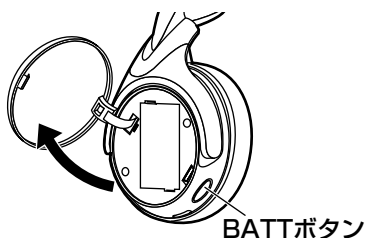
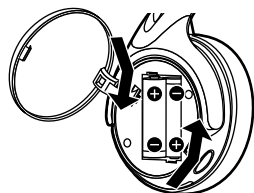
フリーアジャストバンド（☞12、18ページ）
頭にかけると自動的に電源が入ります。
イヤーパッド（左）
イヤーパッド（右）
赤外線受光部
左右2ケ所にあります。
左ハウジング
右ハウジング
電池ふた（☞10ページ）
パワー
POWER（電源）ランプ
フリーアジャストバンドを引き上げると、電池の残量がある場合は赤く点灯します。
バッテリー
BATT ボタン（☞10ページ）
ボタンを押すと電池ふたが開きます。
付属の充電式電池および別売りの単3形乾電池専用です。
ボリューム
VOL（音量）つまみ（☞16ページ）
音量を調節します。
充電端子（☞11ページ）

ヘッドホンの電源準備

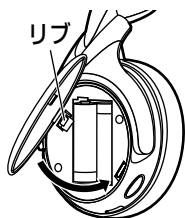
充電式電池（付属）を使う

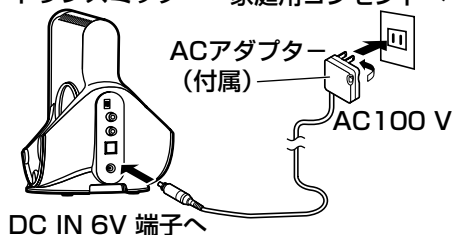
お買い上げ時の充電式電池は、まず充電してからお使いください。

専用充電式ニッケル水素電池
付属または別売り品（HHR-3AH/2B）をご使用ください。

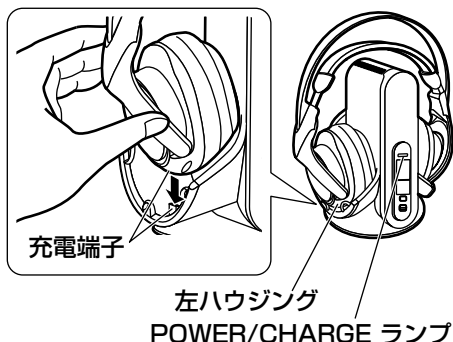
一般の充電式電池
充電することができません。

付属の充電式ニッケル水素電池を入れる

1 左ハウジング部にある［BATT］を押し、電池ふたを開ける
電池ふたは、はずせません。

2 付属の充電式ニッケル水素電池を入れる
- ⊕と⊖を正しく入れる
- ⊖側のバネを押しながら入れる

取り出すときは⊕側から取り出してください。

3 電池ふたを閉じる
リブを穴に差し込み、電池ふたを閉じます。ロックするまで押してください。

充電する

1 トランスミッターにAC アダプター（付属）を接続する

2 **ヘッドホンとトランスミッターの充電端子が接触するようにヘッドホンをトランスミッターの上にのせる**

- トランスミッターのPOWER/CHARGEランプが赤色に点灯します。
- 約16時間後に充電が完了し、POWER/CHARGEランプが消灯します。
- ヘッドホンをトランスミッターの上にのせるときは、左右ハウジング部が平行になるように両手で持ち、トランスミッターへ垂直にのせてください。

(お知らせ)

- 充電中はトランスミッターにある赤外線発光部からの赤外線が自動的に停止します。
- 充電が完了していなくても使用できます。
- 長期間使用しないときは、節電のためにAC アダプターを、コンセントから抜いておくことをおすすめします。接続したままの状態では、機器側の電源が切れていても約1.3 Wの電力を消費しています。
- 充電は0℃～40℃の環境で行なってください。

■ POWER/CHARGEランプが点灯しない場合は

ヘッドホンの左右を確認し、トランスミッターとヘッドホンの充電端子が正しく接触するよう、ヘッドホンをトランスミッターの上にのせ直してみてください。

■ ヘッドホンをお使いになった後、再充電するには

ヘッドホンをトランスミッターに再度のせてください。POWER/CHARGEランプが赤く点灯した後、1～2秒後にDECODE MODE（デコードモード）ランプが消灯し、充電が始まります。

本機は内蔵タイマーにより充電（約16時間）を完了しますので、ヘッドホンをトランスミッターにのせたままでも、充電しすぎることはありません。

(お知らせ)

- 充電すると、電池残量が残っている場合でも充電動作が約16時間続きます。
- 充電中または充電完了後にヘッドホンを抜き差しすると、再び充電動作が約16時間続きます。

ヘッドホンの電源準備

■ 充電時間の目安と使用可能時間

充電時間	使用可能時間※1
約1時間	約1時間15分※3
約16時間※2	約20時間※3

※1　1 kHz、1 mW＋1 mW出力時
※2　充電されていない状態からフル充電するのにかかる時間
※3　周囲の温度や使用状態により、上記の使用可能時間と異なる場合があります。

■ 電池の残量を確認する

フリーアジャストバンドを引き、右ハウジング内のPOWERランプが暗い、点滅する、または音がひずむ、とぎれとぎれになる、「ボッボッ」というノイズ音が聞こえたり雑音が多くなったときは、充電するか、新しい乾電池でお使いください。

充電式電池の寿命について

付属の充電式ニッケル水素電池を充分に充電しても、使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池の寿命と思われます。専用の充電式電池（別売り）HHR-3AH/2Bと取り換えてください。

乾電池（別売り）を使う

本機は別売りの単3形乾電池でもお使いになれます。「付属の充電式ニッケル水素電池を入れる」（☞10ページ）と同じ方法で乾電池をヘッドホンに入れます。
トランスミッターにのせても充電されません。

■ 乾電池の持続時間

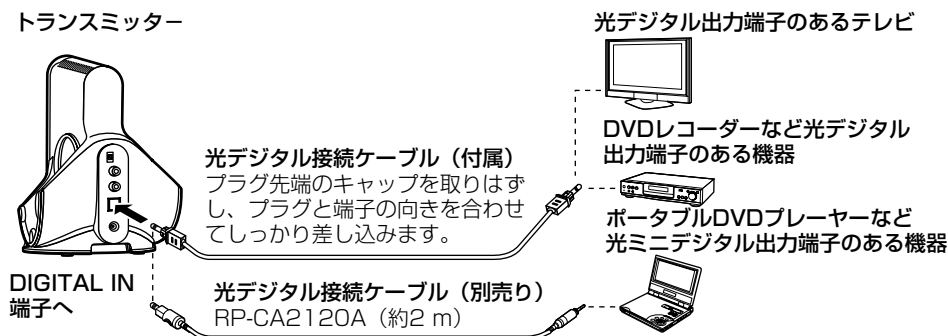
乾電池の種類	持続時間※1
パナソニック アルカリ乾電池	約34時間※2
パナソニック マンガン乾電池	約12時間※2

※1　1 kHz、1 mW＋1 mW出力時
※2　周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

接続する

- 接続する前にデジタル機器またはアナログ機器の電源を切ってください。
- デジタル機器またはアナログ機器をトランスミッターに接続した後、AC アダプター（付属）をトランスミッターに接続してください。（☞10ページ「充電する」手順1）

デジタル機器をつなぐ

付属の光デジタル接続ケーブルを使って、テレビやDVDプレーヤーなど※1の光デジタル出力端子※2と、トランスミッターのDIGITAL IN端子をつないでください。

光デジタル接続ケーブル（光ミニプラグ）（別売り）

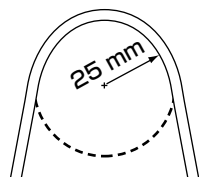
ポータブルDVDプレーヤーやポータブルCDプレーヤーなどの光ミニデジタル出力端子からDIGITAL IN端子へつなぐときは、接続ケーブルRP-CA2120A（約2 m）（光角型プラグ⇔光ミニプラグ）などをお使いください。

お知らせ

※1　パソコンの光デジタル出力端子への接続は動作保証いたしません。
※2　PCM出力しかサポートしていない機器の場合、サラウンド効果はすべてDOLBY PRO LOGIC Ⅱ処理になります。

■ 光デジタル接続ケーブルについてのお願い

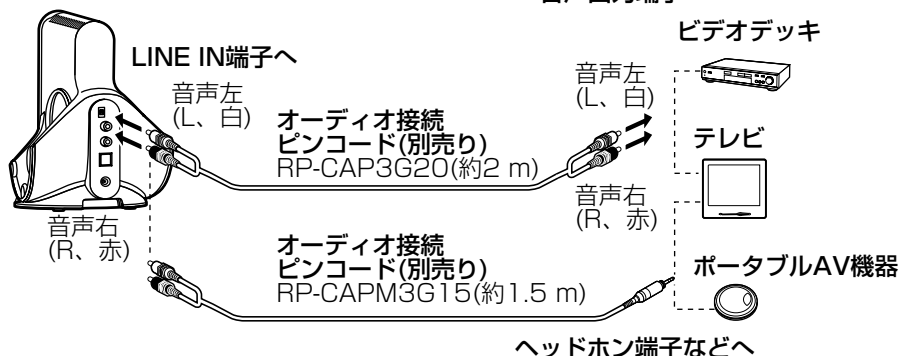
- 光デジタル接続ケーブルには落下物などによる衝撃を与えないでください。
- 光デジタル接続ケーブルの抜き差しは、プラグを持って、丁寧に行なってください。
- 光デジタル接続ケーブルの先端が汚れると性能が低下しますので、汚さないようにしてください。
- 保管の際は、プラグ先端にキャップを付けて、光デジタル接続ケーブルを折り曲げすぎないようにしてください。

光デジタル接続ケーブルの最小曲げ半径は25 mmです。

接続する

■ 音声を聞くには

- DTS音声で収録されたDVDを再生するには、DTSに対応したDVDプレーヤーが必要です。（詳しくはお使いのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。）
- DTSフォーマットのCDで、早送り時や巻き戻し時などにノイズが発生することがありますが、故障ではありません。
- DVDプレーヤーのDTSデジタル出力設定が「OFF」や「切」になっている場合は、DVDメニューでDTS出力を選択しても音が出ないことがあります。
- DVDプレーヤーと本機をアナログで接続している場合、音が出ないことがあります。この場合は、デジタルで接続してください。

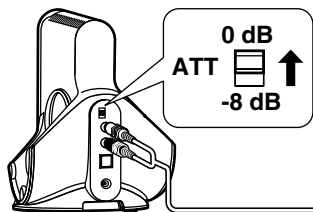
アナログ機器をつなぐ

別売りのオーディオ接続コードを使って、ビデオデッキやテレビなどの音声出力端子と、トランスミッターのLINE IN（L/R）端子を接続してください。

ピンコード（ミニピンプラグ）（別売り）

テレビやポータブルAV機器のヘッドホン端子などのステレオミニジャックからLINE IN端子へつなぐときは、接続ピンコードRP-CAPM3G15（約1.5 m）（ステレオミニプラグ⇔ピンプラグ×2）などをお使いください。

テレビやポータブルAV機器のヘッドホン端子などの出力が低く設定されていると、ノイズが発生することがありますので、音量をひずまない範囲で大きくしてお使いください。

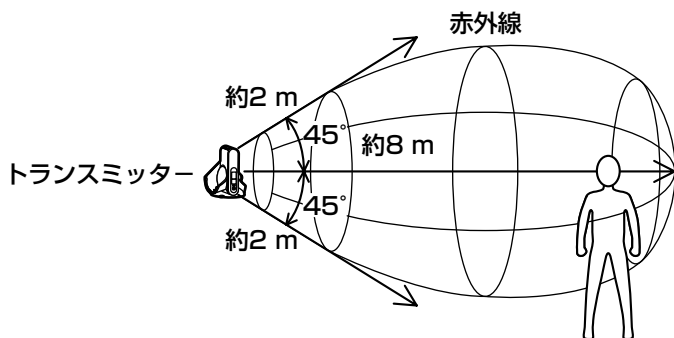
■ ATTつまみについて

アナログ入力で音声が小さいときは、トランスミッター後面にあるATT（アッテネーター）つまみを「0 dB」に切り換えてお使いください。

位置	視聴ソース
0 dB	テレビやポータブル機器など、出力レベルの低いもの
−8 dB	その他の機器（出荷時の設定）

お願い

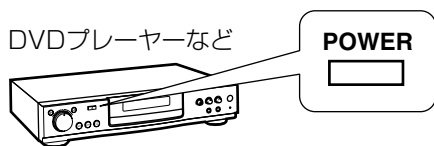
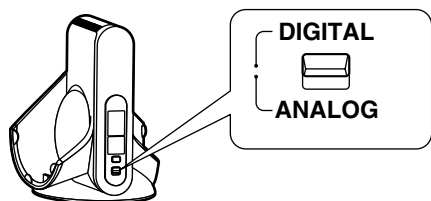
- ATTつまみは、必ず音量を下げてから切り換えてください。
- アナログ入力された音声がひずむ（同時にノイズが発生する場合もあります）ときは、ATTつまみを「−8 dB」に切り換えてください。

設置する

本機は赤外線を利用しています。ヘッドホンは、必ずトランスミッターが直接見通せる下図の範囲でお使いください。トランスミッター（発光部）からヘッドホン（受光部）に赤外線が届く範囲はおおよそ下図の通りです。

お願い

- 壁やガラスなどは赤外線を通しません。
- 上図の範囲内であってもトランスミッターから離れるにしたがって、雑音が増えます。また、赤外線がさえぎられた場合は音がとぎれたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。
- 赤外線受光部を手や髪でおおわないでください。
- トランスミッターの位置やお使いになる場所の状況により聞こえかたが異なります。なるべく聞こえやすい位置でお使いになることをおすすめします。
- 直射日光などの強い光線の下で使わないでください。音がとぎれる場合があります。
- プラズマディスプレイからの光の影響を受け、お使いになれない場合があります。近づきすぎて雑音が入る場合は、1 m以上離れてください。
- 他のトランスミッターと併用すると混信することがあります。

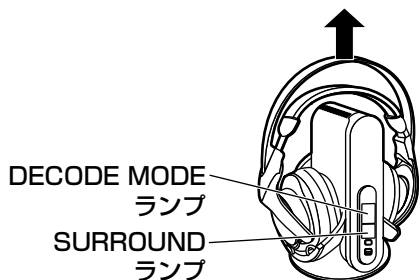
使う

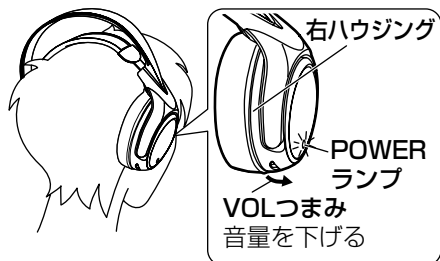
操作に入る前に、必ず「接続する」（☞13～14ページ）をご覧のうえ、正しい接続を行なってください。

1 **トランスミッターをつないだ機器の電源を入れる**

2 **[DIGITAL/ANALOG]を切り換えて、聞く音声を選ぶ**

DIGITAL :DIGITAL IN端子につないだ機器の音声

ANALOG :LINE IN端子につないだ機器の音声

お願い

- 二重音声（MAIN/SUB）の音源を視聴するときは、LINE IN端子に接続して、プレーヤーやテレビの方で聞きたい音声を選んでください。

3 **トランスミッターからヘッドホンをはずす**

トランスミッターの電源が自動的に入り、赤外線発光部が点灯します。
約5秒後につないだAV機器から入力される音声信号とSURROUNDボタンで選択したモードに応じて、DECODE MODE（デコードモード）ランプとSURROUNDランプが点灯します。

4 **VOLつまみで音量を下げ、ヘッドホンをかける**

右ハウジング内のPOWERランプが赤く点灯し、自動的に電源が入ります。
右ハウジング部（R）を右耳に、左ハウジング部（L）を左耳に合わせ、オートパワーオン／オフ機能（☞18ページ）が正確に働くように、頭の上から垂直にかけてください。

5 手順2で選んだ音声の機器を再生する

6 VOLつまみで音量を調節する

お願い

- 映画の場合、静かなシーンで音量を上げすぎて、急激な爆発シーンなどで耳を痛めないようご注意ください。
- ヘッドホンをはずす前に、トランスミッターからAC アダプターをはずすと、雑音が入ることがあります。
- 音量を調節するときに、赤外線受光部を手でおおうとミューティング機能が働き、調節できない場合があります。

■ 各モード間の移行時間について

トランスミッターの各スライドスイッチを操作してから新しいモードに移行するときに、移行時間が異なる場合があります。これはモード移行によるシステム制御の違いによるものです。

■ ヘッドホンから音声が聞こえないときは（ミューティング機能）

赤外線の届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられて受信状態が悪くなると、自動的にミューティング機能が働き、ヘッドホンから音声が聞こえなくなります。トランスミッターに近づくか、赤外線がさえぎられないようにすれば、自動的にミューティング状態は解除されます。

■ DECODE MODE（デコードモード）ランプについて

入力された音声信号の記録方式をトランスミッターが自動判別して、下記のモードランプが点灯します。ドルビーデジタル／DTSなどの音声切り換えは、つないだ機器側（DVDプレーヤーなど）で行なってください。

- **DOLBY DIGITAL**：ドルビーデジタルフォーマットで記録された信号
- **DOLBY PRO LOGIC Ⅱ**：アナログ入力信号、デジタル入力信号のPCM2チャンネル信号またはドルビーデジタル2チャンネル信号がドルビープロロジックⅡ処理された場合（サラウンドモード（☞19ページ）の「OFF」を選んでいる場合はドルビープロロジックⅡ処理されません）
- **DTS**：DTSフォーマットで記録された信号
- **MPEG-2 AAC**：MPEG-2規格の一部として規格化された音声圧縮符号化方式で、デジタルテレビ音声方式として採用されています

お願い

- DIGITAL IN端子につないだ機器が、早送りや巻き戻しなど「再生」以外の状態ではDECODE MODE（デコードモード）ランプが正確に点灯しない場合があります。その場合は、「再生」状態にするとDECODE MODE（デコードモード）ランプが正確に点灯します。

使う

■ ヘッドホンを頭からはずすと自動的に電源が切れます（オートパワーオン/オフ機能）

お使いにならないときは、フリーアジャストバンドが引き上げられた状態にならないようにしてください。オートパワーオン機能が誤って働いてしまい、電池が消耗します。

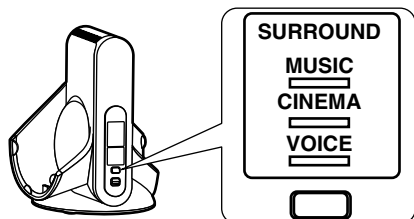
■ 約5分間以上音声信号が入力されないと

トランスミッターのPOWER/CHARGEランプが消灯し、赤外線発光部からの赤外線が自動的に停止します。再び音声信号が入力されると自動的に赤外線が送信されます。また、アナログ入力で非常に小さい音が約5分間続いたときも、赤外線発光部からの赤外線が停止することがあります。この場合はつないだ機器の音量を上げ、ヘッドホンの音量を下げてお使いください。LINE IN端子につないだ機器からノイズ信号が出力されていると、赤外線出力が停止しない場合があります。

お願い

- トランスミッターにある赤外線発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線の届く範囲などの性能には影響ありません。
- ヘッドホンは、赤外線が届く範囲（☞ 15ページ「設置する」）でお使いください。
- 音楽CDのように映像を伴わないソースの場合、音の定位がわかりにくい場合があります。
- 本機は人間の平均的なHRTF※（頭部伝達関数）をシミュレートしていますが、HRTFには個人差があるため効果の感じかたは人により異なる場合があります。

※ Head Related Transfer Functionの略です。

サラウンド効果を選んで聞く

[SURROUND] を押して、好みのサラウンドモードを選ぶ

押すたびに

→ OFF → MUSIC → CINEMA → VOICE ┐

- 選んだサラウンドモードのSURROUNDランプが点灯します。
- OFFを選ぶとSURROUNDランプは点灯しません。

サラウンドモード	サラウンド効果と適した入力ソース（音源）
OFF	通常のヘッドホン再生。
MUSIC	音響環境のよいリスニングルームの音場を再現するモード。音楽ソースに適しています。
CINEMA	リアリティのある臨場感あふれるサラウンドモード、まさにシーンの中にいるような感覚に近づけます。映画などのソースに適しています。
VOICE	騒音の多いスポーツシーンなどで、競技場の興奮を再現しながら、アナウンサーや解説者などの音声を聞きやすくするモード。スポーツ観戦シーンのソースに適しています。

お願い

- 再生する入力信号によっては、選んだサラウンドモードにより、再生音量に違いが生じる場合があります。

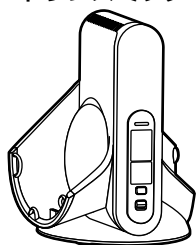
お知らせ

- モノラル音源を再生している場合は、サラウンド効果は得られません。

ヘッドホンを増設する

本機では、別売りの 増設用 デジタル コードレス サラウンド ヘッドホン（RP-WH5000H）を増設することにより、複数の人が同時にワイヤレスで「パーソナル サラウンド」を楽しむことができます。
増設したヘッドホンは、本機のトランスミッターで充電を行ないます。

- 赤外線が届く範囲内（☞15ページ）であれば、何台でも使用可能です。

トランスミッター

お願い

- 充電中は、トランスミッターにある赤外線発光部からの赤外線が自動的に停止します。他のヘッドホンを使用するときは、充電中のヘッドホンをトランスミッターからはずしてください。

使用上のお願い

■ 本機は日本国内でのみ使用できます

ACアダプターは日本国内専用です。海外など、異なる電源、電圧では使用できません。

■ 設置について

- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所。
  - ほこりの多い所。
  - ぐらついた台の上や傾いた所。
  - 振動の多い所。
  - 風呂場など、湿気の多い所。

■ 取り扱いについて

- トランスミッター、ヘッドホンを落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 水などの液体に濡らさないでください。故障の原因となります。

■ ヘッドホンについて

騒音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

お手入れ

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。
販売店へお持ちになるときは、必ずヘッドホンとトランスミッターを一緒にお持ちください。

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	➡ トランスミッターにACアダプターが接続されていることを確認する。（☞10ページ） ➡ トランスミッターとAV機器の接続を確認する。（☞13～14ページ） ➡ トランスミッターにつないだAV機器の電源を入れ、演奏（再生）を始める。（☞16～17ページ）トランスミッターのPOWER/CHARGEランプが緑色に点灯していることを確認する。（☞7ページ） ➡ トランスミッターのDIGITAL ANALOG 切換つまみの設定が、接続した機器の端子を正しく選んでいるか確認する。（☞16ページ） ➡ トランスミッターとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を上げる。（☞14ページ） ➡ ヘッドホンの音量を上げる。（☞17ページ） ➡ ミューティング機能が働いている。（☞17ページ） • トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。 • なるべくトランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。 • トランスミッターの位置や角度を変える。 ➡ プラズマディスプレイが本機の近くにある場合、プラズマディスプレイから1 m以上離れてお使いください。（☞15ページ） ➡ ヘッドホンのPOWERランプが暗い、点滅する、消灯している。（☞12ページ） • 充電式電池が消耗しているので充電をする。または乾電池を新しいものと交換する。それでもPOWERランプが消灯したままの場合は、販売店にお持ちください。 ➡ DTSに対応していないDVDプレーヤーでDTS音声トラックを再生している。（☞14ページ） • DTSに対応したDVDプレーヤーを使用する。またはDolby DigitalやPCM音声トラックを選択する。 ➡ DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）のDTSデジタル出力設定が「OFF」や「切」の状態でDTS音声で収録されたDVDを再生している。（☞14ページ） • お使いのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、DTSデジタル出力設定を「ON」や「入」に切り換えてください。 ➡ DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）と本機をアナログで接続している状態でDTS音声で収録されたDVDを再生している。（☞14ページ） • デジタルで接続してください。（DVDプレーヤーからアナログ音声が出力されない場合があります。）

症状	原因と対応のしかた
音がひずむ、 とぎれとぎれになる （同時にノイズが出る場合もある）	➡ ヘッドホンのPOWERランプが暗い、点滅する、消灯している、または音がひずむ、とぎれとぎれになる、「ボッボッ」というノイズ音が聞こえたり雑音が多くなった。（☞12ページ） • 充電式電池が消耗しているので充電をする。または乾電池を新しいものと交換する。それでもPOWERランプが消灯したままの場合は、販売店にお持ちください。 ➡ トランスミッターのATTつまみを「−8 dB」に切り換える。（☞14ページ） ➡ トランスミッターとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を下げる。（☞14ページ） ➡ DTSソース視聴時は、トランスミッターのSURROUND切換ボタンで「CINEMA」、「MUSIC」または「VOICE」に切り換える。
音が小さい	➡ トランスミッターのATTつまみを「0 dB」に切り換える。（☞14ページ） ➡ トランスミッターとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を上げる。（☞14ページ） ➡ ヘッドホンの音量を上げる。（☞17ページ）
雑音が多い	➡ トランスミッターの近くでヘッドホンを使用する。（トランスミッターから離れるにつれて雑音が多くなります。この現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。）（☞15ページ） ➡ トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認する。（☞15ページ） ➡ 赤外線受光部を手や髪でおおっていないか確認する。（☞15ページ） ➡ 直射日光の入る窓際で使っているときは、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらないようにする。または、直射日光の当たらない場所で使う。（☞15ページ） ➡ トランスミッターの位置や角度を変える。（☞15ページ） ➡ トランスミッターとAV機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を上げる。（☞14ページ） ➡ ヘッドホンのPOWERランプが暗い、点滅する、消灯している、または音がひずむ、とぎれとぎれになる、「ボッボッ」というノイズ音が聞こえたり雑音が多くなった。（☞12ページ） • 充電式電池が消耗しているので充電をする。または乾電池を新しいものと交換する。それでもPOWERランプが消灯したままの場合は、販売店にお持ちください。 ➡ すでに本機以外のトランスミッターをお持ちのときは、同時に2台以上のトランスミッターを使っていないか確認する。（☞15ページ） • 本機以外のトランスミッターの電源を切るか、本機以外のトランスミッターからの赤外線が届かないところへ移動する。 ➡ 本機がプラズマディスプレイの近くにある場合、プラズマディスプレイから1 m以上離れてお使いください。（☞15ページ）

故障かな!?

症状	原因と対応のしかた
サラウンド効果が得られない	➡ トランスミッターのSURROUND切換ボタンで「CINEMA」、「MUSIC」または「VOICE」に切り換える。(☞ 19ページ) ➡ 再生中の音源がマルチチャンネル信号になっていない。モノラル音源の場合、サラウンド効果は得られません。(☞ 19ページ)
DOLBY DIGITALランプが点灯しない	➡ DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）の音声デジタル出力の設定が「PCM」になっている。 • お使いのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、ドルビーデジタルデコーダーを内蔵した機器を使用するときの設定（「ドルビーデジタル／PCM」、「Dolby Digital」など）に切り換えてください。 ➡ ドルビーデジタルフォーマットで記録されていない信号を再生している。 ➡ 再生中のチャプターの音声がドルビーデジタルの信号になっていない。
DOLBY PRO LOGIC Ⅱランプが点灯しない	➡ トランスミッターのSURROUND切換ボタンの設定が「OFF」になっている。(☞ 17ページ) ➡ アナログ入力信号、デジタル入力のPCM信号またはドルビーデジタル2チャンネル信号が入力されていない。
DOLBY PRO LOGIC Ⅱランプが点灯してしまう	➡ アナログ入力信号、デジタル入力のPCM信号またはドルビーデジタル2チャンネル信号が入力されている。
DTSランプが点灯しない	➡ DVDプレーヤー（ゲーム機を含む）のDTSデジタル出力設定が「OFF」や「切」になっている。(☞ 14ページ) • お使いのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、DTSデジタル出力設定を「ON」や「入」に切り換えてください。 ➡ DTSフォーマットで記録されていない信号を再生している。 ➡ 再生中のチャプターの音声がDTSになっていない。 ➡ DVDプレーヤーがDTSに対応していない。(☞ 14ページ) • DTSに対応したDVDプレーヤーをお使いください。
充電できない	➡ トランスミッターのPOWER/CHARGE（充電）ランプが消灯している。(☞ 11ページ) • ヘッドホンがトランスミッターの正しい位置にのせられているか確認する。 ➡ 乾電池が入っている。(☞ 12ページ) • 付属の充電式ニッケル水素電池を入れる。 ➡ 付属以外の充電式ニッケル水素電池が入っている。(☞ 10ページ) • 付属または付属と同じ品番の充電式ニッケル水素電池を入れる。
赤外線出力が停止しない	➡ つないだ機器からノイズ信号が入っている。 • つないだ機器の電源を切る。

主な仕様

トランスミッター　RP-WH5000T

デコーダー機能
ドルビーデジタル
ドルビープロロジックⅡ
DTS
MPEG-2 AAC

サラウンド機能
OFF
CINEMA
MUSIC
VOICE

変換方式　デジタル赤外線伝送

副搬送波周波数
3.75 MHz

到達距離　正面約8 m

伝送帯域　18 Hz～22,000 Hz

ひずみ率　0.1 %以下（1 kHz）

音声入力　光デジタル入力（角型）×1系統
アナログ入力（ピンジャック、左／右）×1系統

電源　DC 6 V（付属のAC アダプターを使用）

最大外形寸法（幅／高さ／奥行）
147 mm×197 mm×147 mm

質量　約334 g

ヘッドホン　RP-WH5000H

再生周波数帯域
18 Hz～22,000 Hz

電源　付属の充電式ニッケル水素電池または別売りの単3形乾電池

質量　約312 g
（付属の充電式ニッケル水素電池含む）

AC アダプター　RFX5051

電源　AC 100 V、50/60 Hz

定格出力　DC 6 V、600 mA

入力容量　9 VA

入力待機時のAC アダプター消費電力
（トランスミッター接続状態）
約1.3 W

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

推奨アクセサリー

光デジタル接続ケーブル
RP-CA2020A（約2 m）
（光角型プラグ⇔光角型プラグ）
RP-CA2120A（約2 m）
（光角型プラグ⇔光ミニプラグ）

オーディオ接続ピンコード
RP-CAP3G20（約2 m）
(ピンプラグ×2⇔ピンプラグ×2)
RP-CAPM3G15(約1.5 m)
（ステレオミニプラグ⇔ピンプラグ×2）

保証とアフターサービス　（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、デジタル コードレス　サラウンド ヘッドホンの補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

22～24ページの「故障かな!?」に従ってご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品名	デジタル コードレス サラウンド ヘッドホン
品番	RP-WH5000
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル・パナソニック
お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル・パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）

0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

ナショナル・パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	**帯広** 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
旭川 旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151	**函館** 函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内) ☎(0138)48-6631

東北地区

青森 青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712	**宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	**山形** 山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	**福島** 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555	**東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
群馬 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109	**山梨** 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
茨城 つくば市花畑2丁目8-1 ☎(029)864-8756	**神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	**新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171
千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034	

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	**名古屋** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	**岡崎** 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	**岐阜** 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209	**高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
静岡 静岡市西島765 ☎(054)287-9000	**三重** 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021	**奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	**兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	**岡山** 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162
松江 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	**広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	**山口** 山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	**高知** 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142
徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125	**愛媛** 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	**天草** 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
	大島 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0904

さくいん

あ

か

さ

た

は

ま

アルファベット

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	RP-WH5000
	販売店名	☎（　　）　–	お客様ご相談窓口 ☎（　　）　–	

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

RQT7948-S
M1004TK1124